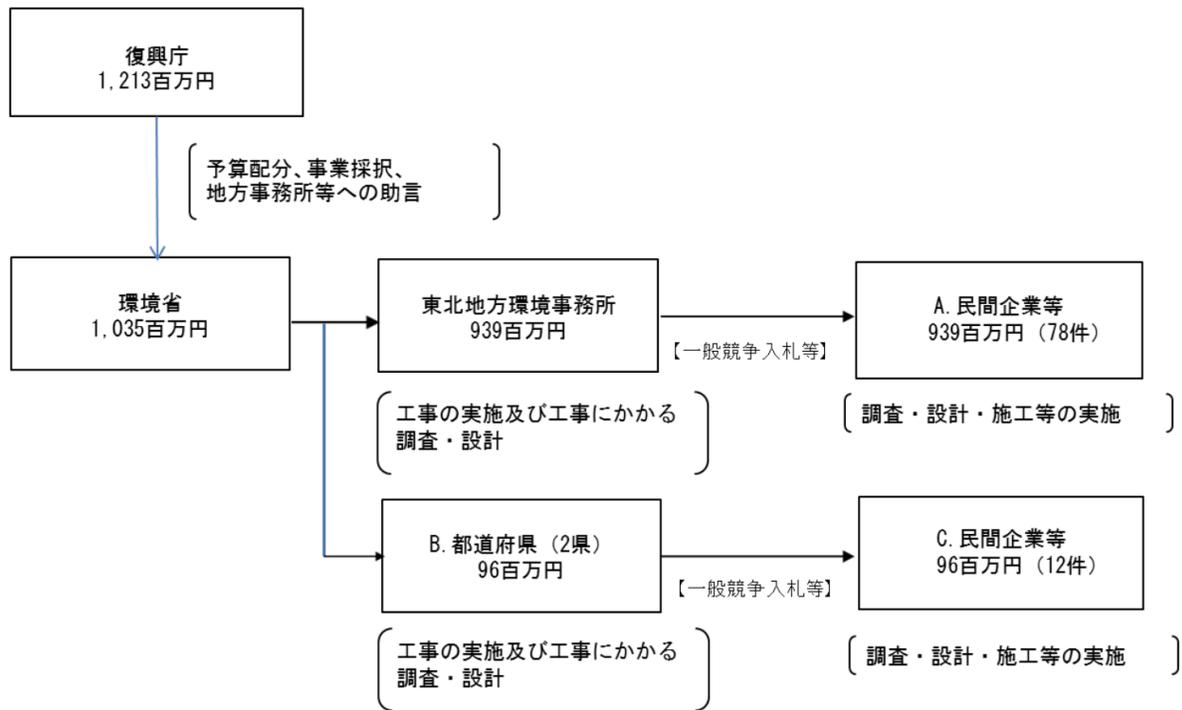


平成27年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	三陸復興国立公園等復興事業			担当部局庁	復興庁		作成責任者	
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 小瀬 達之	
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然公園法第10条第1項			関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性国家戦略2012-2020(平成24年9月28日閣議決定) ・復興への提言(平成23年6月25日) ・東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日閣議決定) ・岩手県東日本大震災津波復興計画(平成23年8月11日) ・宮城県震災復興計画(平成23年10月19日) ・三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン(平成24年5月7日) 			
主要政策・施策	観光立国			主要経費	公共事業			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により、陸中海岸国立公園の公園利用施設の多くが甚大な被害を受けたが、公園利用施設の復旧は、観光産業をはじめとした地元雇用の創出等、地域再建にも寄与するものであり、東北地方の復興のため公園利用施設の早期復旧が被災自治体等より強く求められているところ。そのため、陸中海岸国立公園の主要な利用拠点等、被災した既存利用施設の復旧整備を引き続き推進するとともに、三陸復興国立公園の集団施設地区、歩道等及び東北太平洋岸自然歩道の利用拠点における施設の整備、並びに国指定鳥獣保護区における保全事業を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	安全・安心の観点から津波対策等の防災機能を強化しつつ、国立公園の集団施設地区、歩道等及び東北太平洋岸自然歩道の利用拠点において、被災した既存利用施設の復旧整備や、観光地の再生に資する復興のための整備を行うとともに、国指定鳥獣保護区における保全事業を実施する。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額 (単位：百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
	予算の状況	当初予算	1,100	2,094	1,807	1,807	859	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	618	1,041	1,635	-	
		翌年度へ繰越し	▲ 618	▲ 1,041	▲ 1,635	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計		482	1,671	1,213	3,442	859	
	執行額		353	1,442	1,035	-	-	
執行率 (%)		73%	86%	85%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32年度
	震災前5年間の平均年間利用者数2,975千人に戻す。	三陸復興国立公園内の利用拠点(集団施設地区)年間利用者数(※平成26年度成果については集計中)	成果実績	千人	1,773	1,711	-	-
		目標値	千人	2,975	2,975	2,975	2,975	2,975
		達成度	%	60%	58%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	三陸復興国立公園利用拠点及び公園外利用拠点の整備区域数	活動実績	箇所数	3	3	10	-	
		当初見込み	箇所数	3	3	6	9	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	単位当たりコスト=X/Y X:執行額、Y:成果実績 「利用者1人あたりに係る事業費」 (成果実績=「三陸復興国立公園」利用者数実績) (平成26年度、27年度については見込値より算出)		単位当たりコスト	千円/千円	199	842	347	1,156
			計算式	執行額/成果実績	353,000/1,773	1,442,000/1,711	1,035,000/2,975	3,442,000/2,975
平成27・28年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	国立公園等整備費	1,706	800	平成27年度までに集中的に復旧・整備を行ったため、残事業に必要な額を要求したことによる減額				
	国立公園等維持管理費	101	59					
計	1,807	859						

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	地域の重要な観光資源である三陸復興国立公園の早期復旧と新たな拠点整備であり、国による整備ニーズは高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国立公園の保護又は利用のための施設の整備・管理は、自然公園法上、国が執行することが原則となっている。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	「東日本大震災からの復興の基本方針（東日本大震災復興対策本部、平成23年7月29日）」において国立公園の創設を核としたグリーン復興に位置づけられており、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札を原則としつつ、業務等の性質に応じて支出先を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	「自然公園等施設技術指針」に基づく整備が行われており、コスト等の水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	中間段階においても、一般競争入札を原則としつつ、業務等の性質に応じて支出先を選定している。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に合わせて支出されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	「環境省公共事業コスト構造改善プログラム」に基づきコスト削減が図られている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は成果目標と比較して、前年と同程度で推移している。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	「自然公園等施設技術指針」に基づく整備が行われており、低コスト化が図られている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みと比較して達成出来ている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	地域の重要な観光資源として年間利用者数は回復傾向にあり、活用が図られている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	三陸地域の重要な観光資源である三陸復興国立公園の利用を早期に回復するため、主要な利用拠点等における優先度の高い事業を着実に推進している。事業の実施にあたっては、工事コスト削減に取り組んでいる。			
	改善の方向性	当該事業において、三陸地域の重要な観光資源である旧陸中海岸国立公園の主要な利用拠点等の施設を復旧することができたが、三陸復興国立公園への編入地域や東北太平洋岸自然歩道については、今後も整備が必要である。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	地域の復興にも寄与する公園利用施設等の復旧整備のため、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的・効果的な予算執行に努めていく。				
備考					
平成23年度に環境省の一般会計に計上された予算 「陸中海岸国立公園復旧等事業」 平成24年度以降への繰越額（平成24年度 418百万円、平成25年度95百万円）					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	134
平成25年度	190	平成26年度	223		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)住建トレーディング			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	基石海岸集団施設地区管理棟その他新築 工事(繰越)	199			
計		199	計		0
B.岩手県			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	基石海岸園地ほか再整備(その2)工事	58			
計		58	計		0
C.(株)明和土木			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	基石海岸園地ほか再整備(その2)工事	58			
計		58	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)住建トレーディング	碓石海岸集団施設地区管理棟その他新築工事	199	1	99.8%
2	寺下建設(株)	種差海岸インフォメーションセンター新築工事	151	5	87.9%
3	東照建設(株)	浄土ヶ浜集団施設地区第1駐車場再整備その他工事	190	2	99.9%
4	林崎建設(株)	浄土ヶ浜集団施設地区歩道・標識再整備工事	100	1	98.9%
5	上北建設(株)	小舟渡園地公衆トイレ棟新築工事	62	2	99.3%
6	(株)佐藤建設工業	種差海岸インフォメーションセンター駐車場整備工事	60	2	93.1%
7	(株)乃村工藝社	種差海岸インフォメーションセンター展示工事	43	1	97.1%
8	やましち建設(株)	気仙沼大島野営場再整備工事	29	1	98.1%
9	(株)ニュージェック	南三陸金華山地区フィールドミュージアム園地設計業務	16	8	55.1%
10	北電総合設計(株)	南三陸金華山地区フィールドミュージアム利用拠点施設基本設計業務	11	2	87.6%

B. 都道府県<施行委任>

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩手県	碓石海岸園地ほか再整備(その2)工事	58	1	96.7%
2	青森県	階上岳山頂園地休憩所新築工事	10	2	84.9%
3	岩手県	北山崎線歩道復旧(その2)工事	10	随意契約	-
4	岩手県	三陸復興国立公園標識整備工事	7	7	94.5%
5	岩手県	小袖久喜自然歩道測量業務委託	7	4	70.1%
6	岩手県	黒崎漁港～ネダリ浜自然歩道測量設計業務委託	5	3	51.5%
7	青森県	階上岳園地休憩所新築設計業務委託	1	9	92.7%
8	岩手県	碓石海岸園地駐車場測量業務委託	1	随意契約	-
9	岩手県	東北太平洋自然歩道整備(2工区)工事	1	随意契約	-
10	青森県	階上岳山頂園地用地測量業務委託	1	随意契約	-

C. 民間企業等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)明和土木	碓石海岸園地ほか再整備(その2)工事	58	1	96.7%
2	(株)松本工務店	階上岳山頂園地休憩所新築工事	10	2	84.9%
3	熊谷建設(株)	北山崎線歩道復旧(その2)工事	10	随意契約	-
4	協積産業(株)	三陸復興国立公園標識整備工事	7	7	94.5%
5	(株)岩手開発測量設計	小袖久喜自然歩道測量業務委託	7	4	70.1%
6	(株)一測設計	黒崎漁港～ネダリ浜自然歩道測量設計業務委託	5	3	51.5%
7	(株)青和設計	階上岳園地休憩所新築設計業務委託	1	9	92.7%
8	中央コンサルタンツ(株)	碓石海岸園地駐車場測量業務委託	1	随意契約	-
9	熊谷建設(株)	東北太平洋自然歩道整備(2工区)工事	1	随意契約	-
10	(株)コンテック東日本	階上岳山頂園地用地測量業務委託	1	随意契約	-